

平成20年度 第8回佐渡市行政改革推進本部

1. 日 時 平成21年2月2日(月) 14:28~15:30

2. 場 所 佐渡市役所 3階 大会議室

3. 出席者 25人

本 部 員

市長(本部長)	高 野 宏 一 郎
副市長(副本部長)	親 松 東 一
副市長(副本部長)	甲 斐 元 也
教育長	渡 辺 剛 忠
総務部長	斉 藤 英 夫
議会事務局長	山 田 富 巳 夫
会計管理者	本 間 道 子
企画財政部長	斉 藤 元 彦
市民環境部長	金 子 優
福祉保健部長	鹿 野 義 廣
産業観光部長	佐 々 木 正 雄
建設部長	田 畑 孝 雄
教育委員会教育次長	藤 井 武 雄
消防長	加 藤 貴 一
選挙管理委員会事務局長	藤 井 雄 一
監査委員事務局長	菊 地 賢 一
農業委員会事務局長	藤 井 與 嗣 明
総務部副部長(総務課長)	本 間 進 治
企画財政部副部長(財政課長)	山 本 充 彦

事 務 局

総務部行政改革課課長	佐 藤 金 満
総務部行政改革課課長補佐	清 水 忠 雄
総務部行政改革課行政評価係長	加 藤 留 美 子
総務部行政改革課行政評価係主事	長 尾 啓 介
総務部行政改革課行革推進係長	丹 下 高 晴
総務部行政改革課行革推進係主任	北 見 太 志

4. 会議内容

1. 開会

2. 議事

1) 2008行政改革マニフェストの進捗状況について

2) その他

3. 閉会

1 開会

2 議事

1) 2008行政改革マニフェストの進捗状況について

【佐藤行政改革課長】

行革マニフェストは、行革推進委員会からも当本部会議を活用し、評価並びに情報共有を図って進めるようにと意見があります。各部局で進める中での問題点等を報告し、それらの事について審議いただきたい。

【斉藤総務部長】

時間外勤務の縮減は、各部局長の指導があり、概ね達成可能です。市長への便りは、目標6日以内で取組みましたが、多部局に調整を要する部分で遅れが目立ちました。職員定数の改革は、勸奨退職を進めたが目標にはもう少しのところであり、21年度も引続き行いたい。最後に自主防災組織は目標100%でしたが、現在58%です。引続き2月、3月で努力したい。

【本部長】

時間外の件は、景気対策を第一にお願いしたい。残業をしないために発注が遅れる等ということが無いようにしてください。

【佐藤行政改革課長】

他にご意見等ありますか。無ければ企画財政部からお願いします。

【斉藤企画財政部長】

1番目、実質公債費比率の改革は、目標15.5%と掲げたが、16.4%と少し悪くなりました。2番目、適正なる予算規模に向けての予算編成方針は、目標410億円が408億円で調整中です。来年は経常経費の見直しをしたい。3番目、女性の参画は市委員会への女性の構成比率を、目標30%に対し27.4%で達成できませんでした。但し、昨年比プラス2.6%ですので、引続き頑張りたい。4番目、定住促進は空き家の入居成立件数ですが、目標に達しませんでした。空き家入居に至るまでのプロセスを整備することで、結果的に空き家入居が増えたという形にしていく必要がありますので、頑張りたい。5番目、佐渡航路は目標185万人が181万ということで目標達成に至りません。現在、活性化協議会を設置していますので、それに基づき来年度以降の誘客を図っていきたい。6番目、バス交通は目標94万5千人でしたが、結果105万人でプラスになっています。原因は中高一貫校への通学生数が増えたこと、色々な所でPRした結果が表れてきたと感じています。7番目、情報化推進、CATV加入世帯数の目標8410世帯が、実績6795世帯と目標達成に至りません。8番目、市民メール配信サービスは、目標5千人が、実績3264人でこれも達成しておりません。防災メールの有効性をアピールしていきたい。自己評価は、部局長のリーダーシップの項目はCNS等、自分で出演コーナーを作ったり、色々動いたのでB評価としています。

【山本財政課長】

補足説明です。1番、実質公債費比率が0.9%増えた理由ですが、国の算出方式が変わったことで増えています。以前の計算方法であれば15.5%でした。

【本部長】

新潟県内の自治体に比べ、順位はどんな感じか。

【山本財政課長】

中程です。以前よりは順位が悪くなっています。

【甲斐副本部長】

4番、定住促進対策、入居者から良かった点等のアンケートはやっているか。

【斉藤企画財政部長】

実施していませんが、準市民向けのエールという雑誌の中で入居者の記事を発信しています。

【佐藤行政改革課長】

続いて市民環境部よりお願いします。

【金子市民環境部長】

窓口サービスの充実、市民相談室で毎月の目標を揚げ、全庁に周知してアイデアを出していますので、ご協力いただきたい。市税関係は、新室長が来て、収納体制を強化しており、悪質者には直接出向き徴収しています。来年は大きな成果が表れると思います。しかし、国民健康保険税は、市民課と税務課の連携が上手くなく、見直しを指示している。次に地球温暖化は2、3年前に比べ、ごみ、節電等がルーズになっています。積極的に巡回し、取組むように指示していますが、成果は上がっていません。トキの野生復帰は、ほぼ目標通りです。しかし、我々が取組んでいるピオトープ、冬季たん水等が現実とあっていない状況ですので、内容を検討するよう指示しています。次にゴミの減量化は、レジ袋もポイ捨ても条例化しており、今年は準備年で成果が表れていませんが来年以降に結果が表れると思います。し尿処理は、夜間徴収を指示していますが、1回しか実施しておらず、収納率が落ちています。税は、前回の会議で副市長から幹部、支所長が徴収に何うスケジュールを組みなさいと指示されていますので、その日程を組んでいる最中です。総評は、積極的な課長はそれなりに動くが、積極的でないところは、課長の職員教育が大切と思っています。すべてにおいて対応が遅いというのが総評です。

【本部長】

職員教育は、昇格も含めてしっかりやるように検討を進めてください。

【親松副本部長】

遠慮なく人事査定を厳しくやってください。

【斉藤総務部長】

CO2削減は関係部署が連携を取らなければ難しい問題です。その一つに企画財政部で検討しているノーマイカーデーです。今年度は無理かもしれないが、取組みを早めに動いてもらいたい。

【甲斐副本部長】

CO2削減で、各家庭で作れる表があるが、活用しているのか。

【金子市民環境部長】

徹底されていません。職員が積極的に取組むよう指導したい。

【佐藤行政改革課長】

続いて福祉保健部よりお願いします。

【鹿野福祉保健部長】

保育料の収納率は目標98%ですが、実績見込96.2%ということで、2月、3月と5月までの出納閉鎖期までに体制を組み直し、努力したい。2番目、保育園の統合問題です。目標は5保育園の整理統合で、実績は両津地区の歌代保育園がこの3月をもって閉園することになりました。残り4園は、該当地区に説明会を開催し、詰めていきたい。3番目、介護予防事業

の推進は目標値530人でしたが、周知不足が否めなくて理解を求めるに至っておりません。佐渡だけの特徴か、原因の掘り下げを進めていきたい。4番目、乳幼児健康診査の受診率向上は、新年度から厚生労働省も無料の回数を増やす計画を示していますので、国に連動し新年度の目玉事業として、引上げていきたい。最後に成人の各種健康診査受診率向上です。メタボリックシンドロームに関係する特定検査の受診率を来年度は体制を強化して、啓発、啓蒙、対住民への理解度を高めたい。佐渡はガン系統が多いということで、保健師を中心に保健指導を展開していきたい。

【佐藤行政改革課長】

何かご意見ございますか。無ければ産業観光部よりお願いします。

【佐々木産業観光部長】

認証米制度は目標400haに対し、実績427haということでかなり関心を持っていただいている。水田経営所得安定対策は目標を達成しております。農林水産課は竹林整備、或いは千枚田の復元とか、生産振興部分で若干目標に届かなかった。施設整理は諸般の事情で1施設、指定管理は不調であった。商工観光関係は、観光客は最終値が59万7千人で目標より8万3千人減となっています。合宿誘致は、若干プラス傾向です。企業誘致は今のところありません。Uターン職業相談は紹介者数の実績だけですが、減少傾向にあります。総評ですが、各課の目的意識、スキルアップをしなければならない。

【佐藤行政改革課長】

ご質問等があればお願いします。無ければ建設部よりお願いします。

【田畑建設部長】

市営住宅の使用料は目標に対してマイナス2.3%で、2月、3月に夜間徴収等を実施して目標に近づけていきたい。次に行政手続きの簡素化は、目標に達しています。水道使用料の収納率は100%に届いていませんが、前年より上がります。水道料金の統一は計画通りに統合が進んでいます。次、下水道の水洗化率は目標55%が実績53.1%です。下水道の理解を求めるため、戸別訪問を実施していますが、訪問数が少なく、体制づくりが遅かったということで、2月、3月で頑張りたい。6番目、生活排水の垂れ流し対策は合併浄化槽や公共下水道の接続世帯数の目標です。地区説明をしていますが、目標に届いていません。総評として、行政手続きはある程度理解が得られ、全員で行なっていますが、使用料の収納と加入率については、不十分である。

【佐藤行政改革課長】

ご意見等ありますか。次に教育委員会よりお願いします。

【藤井教育次長】

学校統合の関係は、検討会設置が7校、統合決定が5校という状態で、全体としては7割前後の状況です。2番目、給食業務で地産地消の関係を掲げております。24給食施設に周知徹底していますが、まもなくその数値が把握できます。3番目、施設間の連携強化と整理合理化の検討です。主に社会体育施設で58施設あり、スリム化ということですが、暗礁に乗り上げている状況です。4番目、歴史民族資料館の整理合理化です。15施設の博物館、資料館が点在しており、整理統合を進めていますが、取組みが遅れて整理には至っていない状況です。

【佐藤行政改革課長】

ご意見等ございますか。次、選挙管理委員会事務局よりお願いします。

【藤井選挙管理委員会事務局長】

県知事選挙の開票事務の迅速化ということで、前回2時間半かかったものを結果的には1時間で終了しました。また、開票人数も前回の県知事選挙より30人減でした。

【佐藤行政改革課長】

ご意見等ございますか。次、農業委員会事務局よりお願いします。

【藤井農業委員会事務局長】

地域の特性を活かした産業の振興、市の特認で対応させていただき大幅にカバーできました。農業経営基盤強化促進法による利用集積は、目標650haに対し12月末で363haです。3月までに目標に近づけていきたい。

【佐藤行政改革課長】

ご意見等ございますか。次、消防本部よりお願いします。

【加藤消防長】

1番目、応急手当の普及啓発活動の推進は、教育委員会から協力いただき、従来の3、4校が、小学校11校、中学校5校と多くの学校から講義を受けていただき、効果があった。救命率が実績ゼロです。救命率の考え方が、一昨年から国際基準に準じている関係です。2番目、火災発生件数の抑制、昨年の火災件数に比べ7件の増で、結果は達成できませんでした。高齢者宅の防火訪問も目標の50%しか達成できていない状況です。消防拠点の整備が進まない中での人員対応ができなかったので、よく検討して目標を掲げる必要がありました。最後に消防団協力事業所表示制度の推進です。職員が地域の事業所に入って積極的に説明した関係で、目標を達成している。

【佐藤行政改革課長】

全部局からの説明は終わりました。全体を通して、ご質問等ございましたらお願いします。

【甲斐副本部長】

これは次にどう活かすのか。

【佐藤行政改革課長】

2月20日の行政改革推進委員会で評価をいただくことになっています。

【甲斐副本部長】

この各部局の総評に反省しているということが出てきているが、これを具体的にどう改善するのか。

【佐藤行政改革課長】

各部局長のマネージメントで対応していただきたいと考えています。

【甲斐副本部長】

達成できなかったものをどのように改善するのか具体的なことはどこにも出ないのか。

【丹下行革推進係長】

この後、行革推進委員会があり、外部から意見をいただきます。その外部からの意見等も踏まえ、来年度マニフェストを現部局長から作成いただき、来年度に反映させていくという流れになります。

【甲斐副本部長】

翌年度につながる仕組みにしないといけない。そうしないと来年も反省で終わるので、そこはしっかりやりましょう。

【佐藤行政改革課長】

12日の部局間調整で来年度マニフェストを検討するが、その際、各部局長は今年度マニフェストの実績に基づき、目標を達成してないところは、どのような手法が必要かということを整理し、提出をお願いしたい。

【親松副本部長】

この項目は毎年同じ項目か。

【佐藤行政改革課長】

継続する項目も新規項目もあります。

【甲斐副本部長】

総評に対応が遅いと書いてあるが、対応を早くするにはどうするかがこの中に出てこなければ次の人が対応できない。課員全員に浸透させるにはどうするのか、そこが無いといつまでたっても同じことの繰り返しになる。

【親松副本部長】

今のままだと最後に結果だけが出てくるだけで、どう改善点するかという作業期間がない。この会議をもっと早めた方が良い。

【本部長】

マニフェストの数値目標と実績に乖離があっても平気になっている。それではまずいのではないかということが言いたい。自分たちが設定したマニフェストの中で努力することは良いが、乖離があっても最後は「反省しました」の一言で済んでしまい、次の年にまた同じことをやってしまう。

【佐藤行政改革課長】

それでは12日の会議ではこの流れを継続していくためにも、成果を上げるための手法を考えていただきたい。

これで終了します。ご苦労様でした。

## 2) その他

特になし。

## 3 閉会